

宣教師候補者との面接における標準化された質問事項 よくある質問

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

2017年10月20日

以下の情報は、宣教師候補者との面接における質問事項をどのように用いるかについての疑問に答えるものです。——大管長会の手紙、「宣教師候補者との面接における標準化された質問事項」(2017年10月20日付け) 参照

全般

教会はなぜ、宣教師の面接における標準化された質問事項を提供するのですか。

教会指導者はそれぞれの宣教師に、霊的かつ信仰を育む経験をしてほしいと望んでいます。宣教師は、宣教師として奉仕するにふさわしく、身体的、精神的、情緒的に備えができていて、成功を経験する可能性が最も高くなります。面接の質問事項は、宣教師候補者が伝道に出る備えができていかどうかを自分自身で測る助けとなるでしょう。また、宣教師候補者が宣教師として奉仕するための資格について、親（若い宣教師候補者の場合）や神権指導者と有意義な話し合いを持つうえでも役立つでしょう。

伝道に出るための標準が変更されたのですか。

いいえ。これらの質問事項を教会指導者、親、青少年に提供する目的は、伝道に出る前に標準を理解してもらい、宣教師候補者が霊的、身体的、精神的、情緒的に伝道へ向けて備えられるようにすることです。

これらの質問事項が神殿推薦状の面接時と異なるのはなぜですか。

面接の質問事項の多くは、神殿推薦状の標準的な面接で尋ねられるものと類似しており、宣教師候補者が奉仕にふさわしいかどうかを神権指導者が見極めるのを助ける目的で含まれています。しかし宣教師としての奉仕は、神殿参入に比べ身体的、情緒的、精神的にはるかに多くを求められます。そのほかの質問事項は、伝道に対する宣教師候補者の身体的、精神的、情緒的な準備の度合いを測るうえで役立ちます。

これは、ふさわしさに関する面接ですか。それとも、資格を問う面接ですか。

両方です。個人のふさわしさは、専任宣教師として奉仕するための一つの要件です。加えて、宣教師候補者は奉仕するうえで、身体的、精神的、情緒的な要件を満たす必要があります。

宣教師候補者

すでに悔い改めた罪について、ビショップとステーク会長に話す必要がありますか。

ビショップとステーク会長は、あなたが専任宣教師として奉仕するためのふさわしさと資格を備え、準備を整えられるよう助けたいと望んでいます。すでに解決している場合でも、過去の罪について包み隠さず話し、奉仕するうえでの霊的な備えの程度をあなたが判断できるよう助けてもらうことが重要です。

よくある質問

2017年10月20日

2/3 ページ

重大な罪のために専任宣教師として奉仕できない場合がありますか。

一部の重大な罪により、一時的、あるいは永久に、専任宣教師として奉仕する資格を失うことはあります。状況はそれぞれ異なるため、正直に包み隠さずビショップとステーク会長に話してください。彼らには、あなたを導く方法が分かるでしょう。

わたしのビショップとステーク会長は、医療的な訓練を受けていません。わたしが身体的、精神的、情緒的に、伝道に出る備えができていないかどうかをどのようにして判断するのですか。

推薦の過程で、あなたは身体検査と歯科検診を受けるよう求められます。精神的、あるいは情緒的な問題を考慮する必要がある場合、ビショップまたはステーク会長から、精神医療専門家のもとを訪れるよう求められる場合もあるでしょう。あなたを診察する医療専門家、精神医療専門家が作成した診断書は、宣教師推薦書とともに提出されます。診断書に記載される医療情報および精神衛生関連の情報、また面接の質問から得られた情報は、宣教師管理部の医療および精神医療の専門家に共有され、評価されます。

この情報は、中央幹部が宣教師に最適な割り当ての機会を決定するうえで役立ちます。状況に応じて、中央幹部が宣教師候補者に、教会奉仕宣教師として働くことを検討するよう提案する場合もあるでしょう。

わたしの状況は、専任宣教師として奉仕するのに不適格なのではないかと思います。そもそも専任宣教師として奉仕することを検討するべきではないのでしょうか。

あなたの状況について、ビショップとステーク会長に相談してください。彼らは、宣教師としての奉仕に求められる、身体的、精神的、情緒的な要件をあなたがさらに理解できるよう助けてくれます。彼らに答えられない疑問がある場合、ステーク会長は宣教師管理部に問い合わせるべきです。

専任宣教師として奉仕できない場合、そのほかの伝道の機会にはどのようなものがありますか。

伝道の割り当てを受けての奉仕はできないけれども伝道に出ることを希望する場合は、ビショップとステーク会長に相談してください。彼らは、教会奉仕宣教師としての割り当てや、そのほか有意義な奉仕ができる素晴らしい機会へと導いてくれるでしょう。

親

子供が専任宣教師として伝道に出るうえで備えられるよう助けるためには、何をすればよいのでしょうか。

伝道に備える子供たちを助けることに関して、早いうちから積極的な役割を果たしてください。伝道に出るための資格を教え、その標準に従って生活するよう励まします。面接の質問事項に添付されている情報を、家庭の夕べのレッスンや話し合いのテーマとして活用してもよいでしょう。子供たちが伝道への備えを始める際には、ビショップおよびステーク会長との面接で尋ねられる質問事項を彼ら自身が理解していることを確かめてください。

よくある質問

2017年10月20日

3/3 ページ

ビショップ, 支部会長, ステーク会長, 伝道部会長

候補者が伝道に出る備えができていない,あるいはその資格がないと感じる場合, どうすればよいでしょうか。だれに問い合わせられますか。

あなたが知り得るかぎりの範囲で, 宣教師候補者が霊的, 身体的, 精神的, 情緒的に, 推薦しようとしている責任を果たす能力があると確信した場合にのみ, 宣教師推薦書を提出すべきです。宣教師として奉仕する資格について疑問がある場合, ビショップや支部会長はステーク会長に相談すべきです。ステークまたは伝道部会長が疑問を感じる場合には, 宣教師管理部に問い合わせるとよいでしょう。

伝道に出る資格について青少年, 親, 指導者が理解するのを, どのように助けることができるでしょうか。

伝道の面接における質問事項と添付の資料について, ワード, 支部, ステーク, 地方部の評議会で話し合ってください。ビショップと支部会長は, 月の第5日曜日のレッスンやその他の教える機会に, 親をはじめとする大人にこれらの質問を共有することについて検討してもよいでしょう。青少年が伝道に備えるのを, 親や指導者がどのように助けられるかを話し合ってください。青少年のレッスンや面接を通じて, これらの質問事項を青少年に伝え, 話し合う機会を探してください。